



なつかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

白地に赤く 日の丸そめて

ああ美しい 日本の旗は

(日本の唱歌より)

第25号

令和元年

9月15日発行

奈加美神社

泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

平成から令和へ



剣璽等承継の儀 (三種の神器が先帝陛下から新帝陛下に承継されました)

去る四月三十日に先の天皇陛下がご譲位、翌五月一日に皇太子殿下が天皇の御位に踐祚、御即位あそばされ、令和の御代の幕開けとなりました。謹んでお慶び申し上げます。

上皇陛下におかせられましたは、日本の象徴として三十年の永きにわたり、ご公務をお務めあそばされましたこと、衷心より深く感謝申し上げます。

顧みますと、平成の御代は戦争のない平和な時代でありましたが、阪神淡路大震災、東日本大震災などの地震災害を始め、台風や集中豪雨、或いは火山噴火など多くの自然災害がありました。そのよう



賢所に期日奉告の儀 (大嘗祭の期日)



宮中三殿 (右から神殿、賢所、皇霊殿)

な状況にあつて、宮中祭祀を通して、国安かれ、民安かれと常に平和への祈りを捧げ、被災地訪問を通じて国民を「おおみたちから」と常に御心をお寄せ下さいました。このような天皇を頂く日本の国柄は大変素晴らしく誇らしくもあります。

そして令和への御代替りには古より受け継がれている大切な儀式があり、来る十月二十二日には即位礼、十一月十四日(十五日にかけて)大嘗祭(だいじょうさい)が行われます。

天皇陛下は毎年十一月、天照大御神を始め神々に新穀をお供えする新嘗祭を行います。大嘗祭は即位後に行う御一代に一度限りの特別な新嘗祭です。

古代の工法のまま簡素に建てられた大嘗宮に、悠紀田(栃木県)主基田(京都府)で作られる新穀を始め、全国各地道府県から特産物が奉獻され、国家国民の安寧と五穀豊穡を祈念されます。

当社におきましても十一月十五日午前十時より、大嘗祭当日祭を行いますので宜しければご参列下さい。

末社・大宮稻荷神社事業報告

この度の大宮稻荷神社殿改築・玉垣参道整備事業に際しましては、四三六名の氏子崇敬者の皆様より目標額を上回る真心の籠った奉賛金を賜りました。神社関係者一同心より厚く御礼を申し上げます。

当初の事業計画では、道路沿いの土塀は改修程度にとどめる予定でしたが、昨年の大阪北部地震や台風二十一号による災害や事故を踏まえ、日新小学校の通路にあたることなどから、安全面を第一に考え、全て解体撤去のうえ、土塀風の鉄筋コンクリート塀に改築することとし、拝所・手水舎も整えることとなりました。

三月に施工業者入札の受付を行いましたところ、三社の工務店より申し込みがありました。しかしながら台風二十一号の災害の影響により、土塀の瓦や土など、産業廃棄物の撤去費や建設費が高騰し、入札額は各社とも当初予算を大きく上回る結果となりました。更に業者枠を広げて再入札を行いました。状況は変わりませんでした。そのようなことから業者選定が大幅に遅れておりましたが、工事内容を精査して工事費の圧縮を図り、よう

やく十月には契約を結び、十一月頃に着工、来年夏頃の完成を予定しております。事業予算につきましては、道路沿いの土塀の改築工事を追加したため、大幅な増額となっております。不足分は神社社会計からも拠出することとなっております。

なお、工事着工に先立ち八月十一日に仮殿遷座祭を執り行い、大宮稻荷神社の大神様を奈加美神社拝殿の中、右側に設営した仮殿にお遷しさせて頂いております。工事完成までのしばらくの間ご迷惑をお掛けいたしますが、奈加美神社拝殿前からご参拝下さいますようお願い申し上げます。

重要なお知らせ

今回の営繕事業に際しまして、近年多発してります自然災害による事故を踏まえ、道路沿いの土塀を解体撤去して改築することとなりました。土塀には昭和四十九年の拝殿造営事業と昭和六十年の神殿修復事業のご奉賛者のご芳名が埋め込まれています。解体に際してそのまま保存することが困難な状況にありますので、ステンレスの銘板に当時のご奉賛者のご芳名を刻んで掲出し、引き続き顕彰させて頂くこととなりました。

また、昨年の台風二十一号の被害を踏まえて神社の道路向かいの敷地のクスノキと、新設する土塀の基礎の障害となる道路沿いのクスノキやクログネモチノキを伐採撤去することになっております。重ねてお知らせいたします。

関係者各位におかれましては何卒ご理解頂き、ご容赦下さいますようお願い申し上げます。

奈加美神社拝殿内大宮稻荷神社御仮殿



祝七五三まいり

七五三まいりは、髪置き、袴着、帯解きなどの儀式に由来し、三歳の男女児、五歳の男児、七歳の女児のお祝いです。これまでの無事に感謝し、今後とも健やかに成長しますように神様のご加護を願います。七五三まいりは十一月十五日、または十一月中の吉日を選んでお参り頂きます。近年は衣装や写真館の都合もあり、十月〜十二月にかけてお参り頂く方も増えてまいりました。神社といたしましてはな



るべく
対応さ
せて頂
きます
が、必
ずお電
話にて
ご予約
下さい
ますよ
う申し
願いま
す。

安産戌の日まいり

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）、そして配祭神には母君の神功皇后がお祀りされており、古事記によると約一八〇〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として崇められ、岩田帯の起源にもなったと言われています。安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのは犬が多産であり、安産であることに因みます。

目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂ける腹巻型の腹帯もお授けしております。



奈加美神社に伝わる大絵馬
円山応挙の門弟により描かれたもので、神功皇后と
応神天皇を抱く武内宿禰。

令和元年 安産戌の日表

6月	6日(木) 18日(火) 30日(日)
7月	12日(金) 24日(水)
8月	5日(月) 17日(土) 29日(木)
9月	10日(火) 22日(日)
10月	4日(金) 16日(水) 28日(月)
11月	9日(土) 21日(木)
12月	3日(火) 15日(日) 27日(金)



ご祈祷のご案内

お宮参り ・ 安産祈願 ・ 七五三
厄除け ・ 車のお祓い ・ 地鎮祭
住宅入居のお祓い、各種お祓い
神道家葬祭 ・ 霊祭、神棚の
相談等も受付致しております
お電話にてお問合わせ下さい

公式ホームページ開設
<http://www.nakami.org>